

設置工事説明書

インダクションヒータ HD-D250 (G2)

テーブル、カウンター組込みタイプ

この器具を正しく安全に設置していただくために、この「設置工事説明書」をよくお読みになって指定された工事を行ってください。

●本品はテーブル、カウンターなどに取り付けるもので、システムキッチン、ミニキッチンなどへの取り付けはできません。

安全のため必ずお守りください

ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

 警告	誤った取扱いをした時に、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	誤った取扱いをした時に、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容

絵表示の例



この記号は「禁止」(しないでください)を示します。



この記号は「強制」(必ずしてください)を示します。



警告

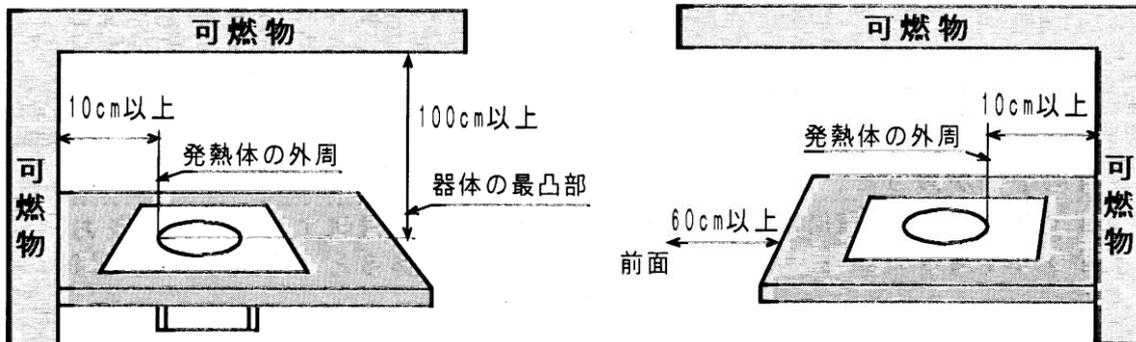
	●改造はしないでください。また修理技術者以外の方は分解したり修理をしないでください。火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。
	●設置工事は、この「設置工事説明書」に従って確実に行ってください。 設置に不備があると、漏電・火災の原因になります。
	●電気工事は、電気設備技術基準等関係する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」が行ってください。
	●設置するときは、火災予防条例に基づいて、可燃物との離隔距離を必ず守ってください。 距離が近いと火災の原因になります。
	●電源プラグは刃及び刃の取付け面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。 火災の原因になります。
	●単相200V・20A以上の専用回路とブレーカを設置してください。 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常加熱して発火することがあります。
	●漏電しゃ断器を設置してください。 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
	●アースを確実に取り付けてください。 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

⚠ 注意

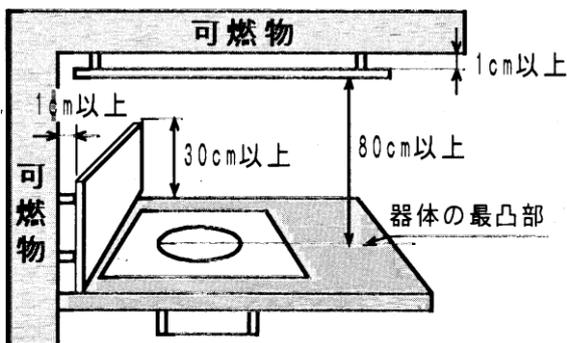
⊘	● トッププレートに衝撃を加えないでください。万一ヒビが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因になります。
	● 電源コードや電源プラグが傷んだりコンセントの差込がゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。
	● 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・漏電の原因となります。
⊘	● 試運転中は、トッププレートなど高温部に触れないでください。やけどの恐れがあります。
!	● 天板の材料には、耐熱材料（熱硬化樹脂化粧板（JIS-K-6930）またはこれと同等以上）のものを使用してください。耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。
	● 電源プラグを抜くときは、電源コードをもたずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。

設置場所の確認

- 火災予防条例、電気設備技術基準 59 条に従って設置してください。
- カウンタトップは、熱硬化樹脂化粧板（JIS-K-6930）またはこれと同等以上の耐熱性のあるものを使用してください。ニス引きのものは変色しますので使用しないでください。
- 製品の金属部が取付台の金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属（メタルラスなど）と取付台の金属部を接触しないようにするか、または本品の金属部が取付台の金属部に接触しないように取り付けてください。
- 製品を設置する厨房が建築基準法に定める「内装制限を受ける調理室」に該当する場合には、厨房全体についても内装材の制限を受けます。
- 製品は水平に設置してください。
- 製品は火災予防上、可燃物との間を下図のように離して取り付けてください。



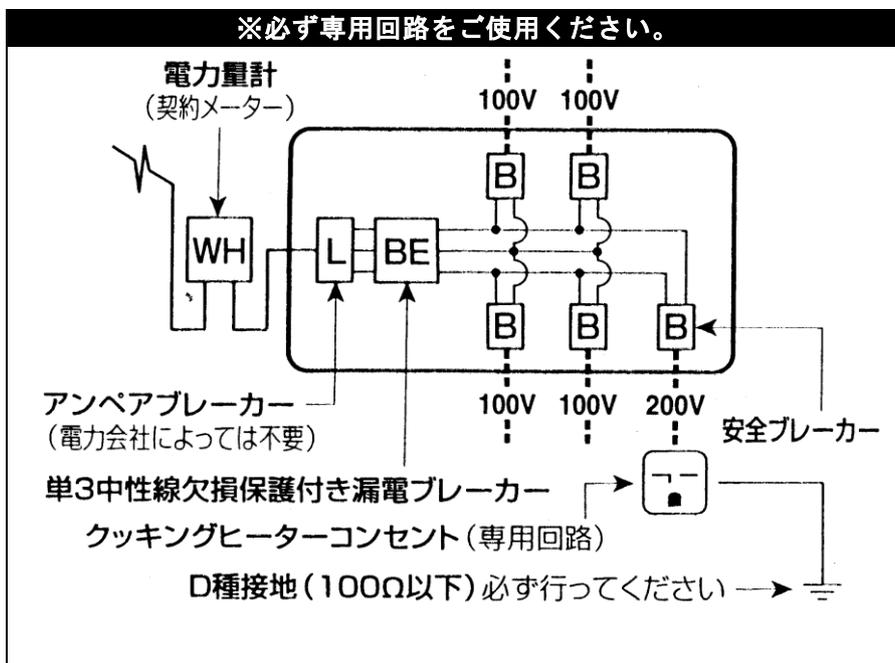
- 上記寸法がとれない場合には、不燃材による防熱板を取り付けてください。天板よりトッププレートを落とし込む場合も同様の対応を行ってください。



電気工事

必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

<専用回路の設置（単相200V）>



<コンセントの設置>

- 次のようなものが標準品となっていますので、事前にご確認のうえ、設置してください。

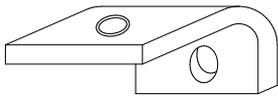
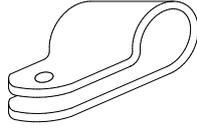
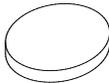
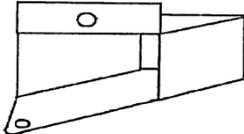
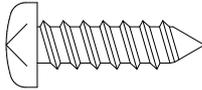
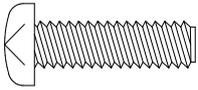
器具の容量	幹線の太さ	コンセント形状
20A	Φ2.0mm	 単相200V用（設置極付き） 250V-20A

- コンセントの位置は、修理時などにプラグの抜き差しできる位置に設置してください。

設置前の準備

付属品の確認

- 取扱説明書、保証書があることを確認してください。

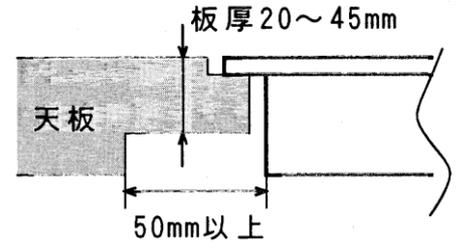
固定金具（フック）2個 	クランプ 3個 	ネジカバ 2個 	コネクタカバー 1個 
タッピングネジ 4本 (Φ4×14) 	Mネジ 3個 (M4×8) 	チョウボルト 2本 (M4×40) 	トラスMネジ 1個 (M4×8) 

設置前の準備 (続き)

使用天板についての注意

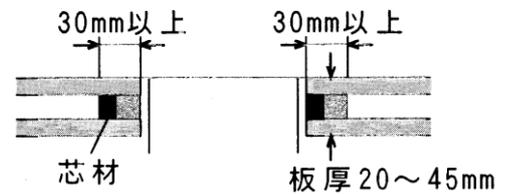
■天板が木材などの場合

- 板厚20～45mmのものを使用してください。
- 板厚が45mm以上の天板を使用する場合は、本体取り付け穴の周囲を50mm以上の幅で加工してください。



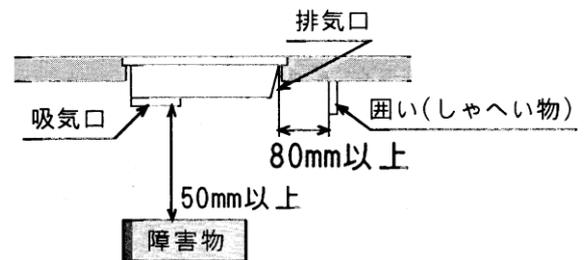
■天板がフラッシュ構造の場合

- 本体を受ける位置に芯がくるようにしてください。



■天板の吸気口・排気口の近傍にしゃへい物を設ける場合

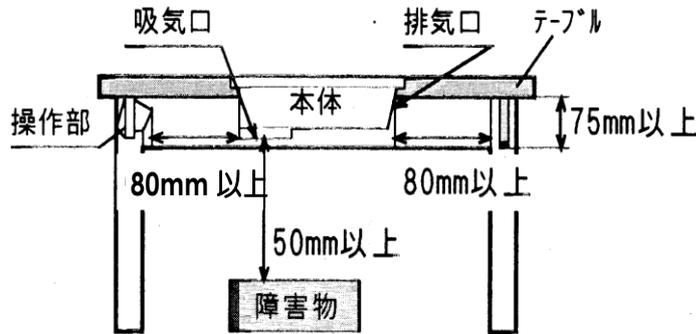
- 本体への空気吸い込みや排気しゃへいする場合、しゃへい物から吸気口・排気口を50mm以上離して取り付けてください。



取付台の加工

1. テーブル・座卓に取り付ける

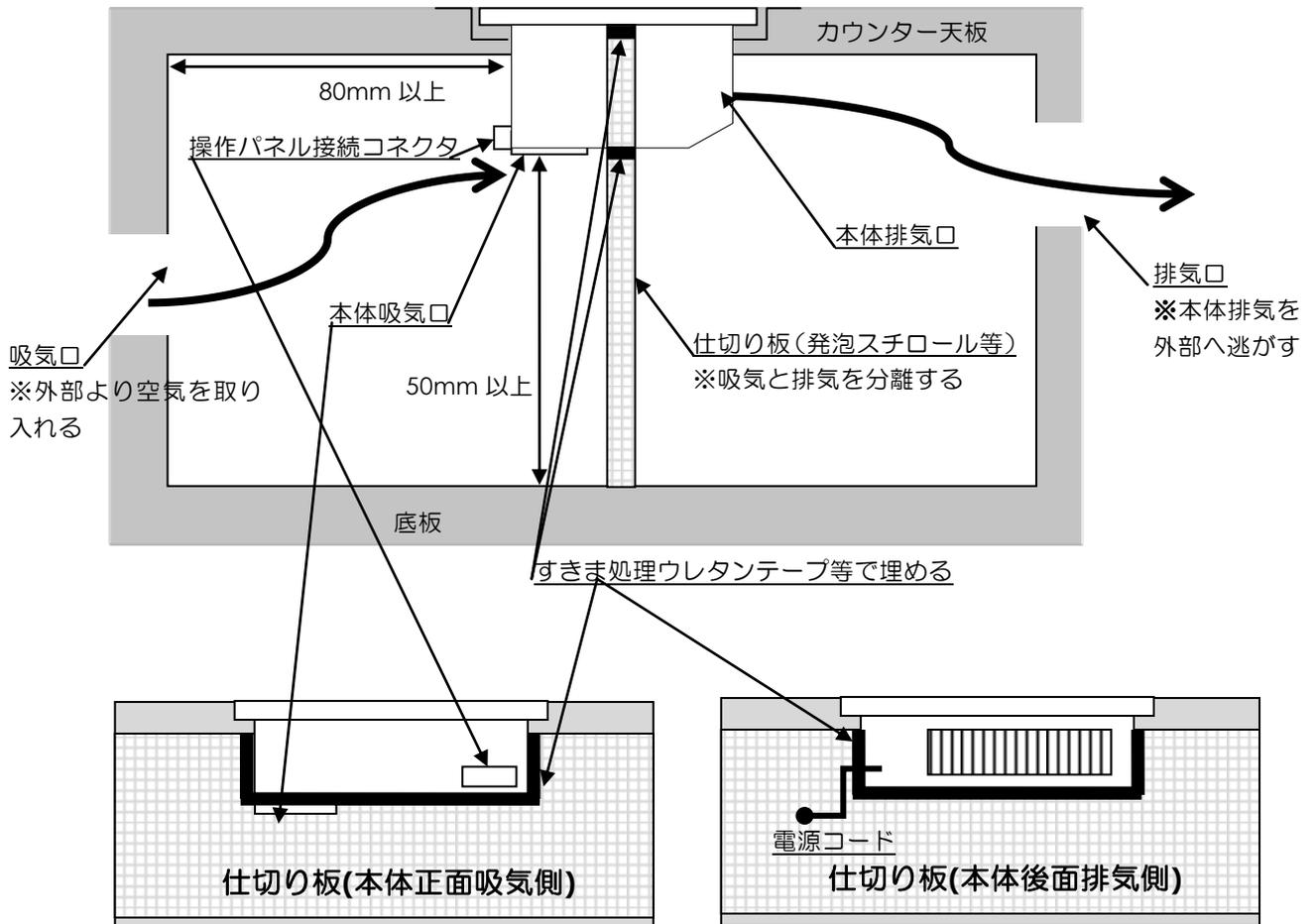
壁や幕板などの障害物は本体の排気口から80mm以上離して取り付けてください。
また、本体の下側50mm以内に障害物がないようにしてください。



※本体下方は吸気口・排気口部のフィルタ掃除や修理対応のため障害物を取り付けしないでください。
やむを得ない場合は取り外せる構造としてください。

2. カウンター天板に取り付ける

※吸気と排気を分離することにより本体内部の温度上昇を防ぎます。
※本体故障の原因となる為必ず仕切り板を設置して下さい。



取り付け台の加工（続き）

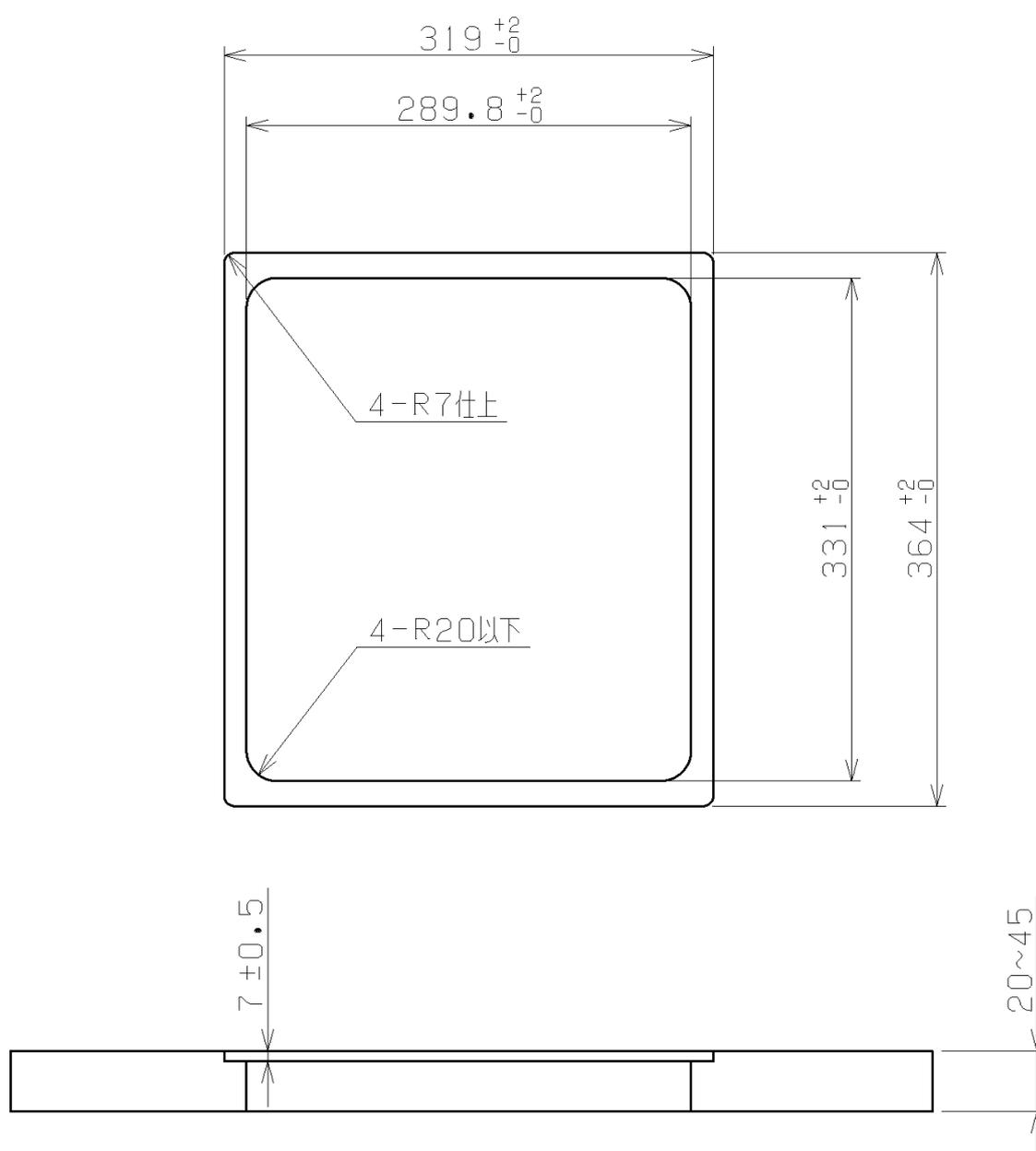
3. 取り付け穴の加工

本体と操作部の取り付け用の穴をあけます。

取り付け台天板の板厚は20～45mmにしてください。

※「本体取り付け穴」と「操作部取り付け穴」の間隔は本体と操作部が接触せず、かつ接続コードが届く範囲にしてください。

■ 本体部取り付け穴 単位：mm

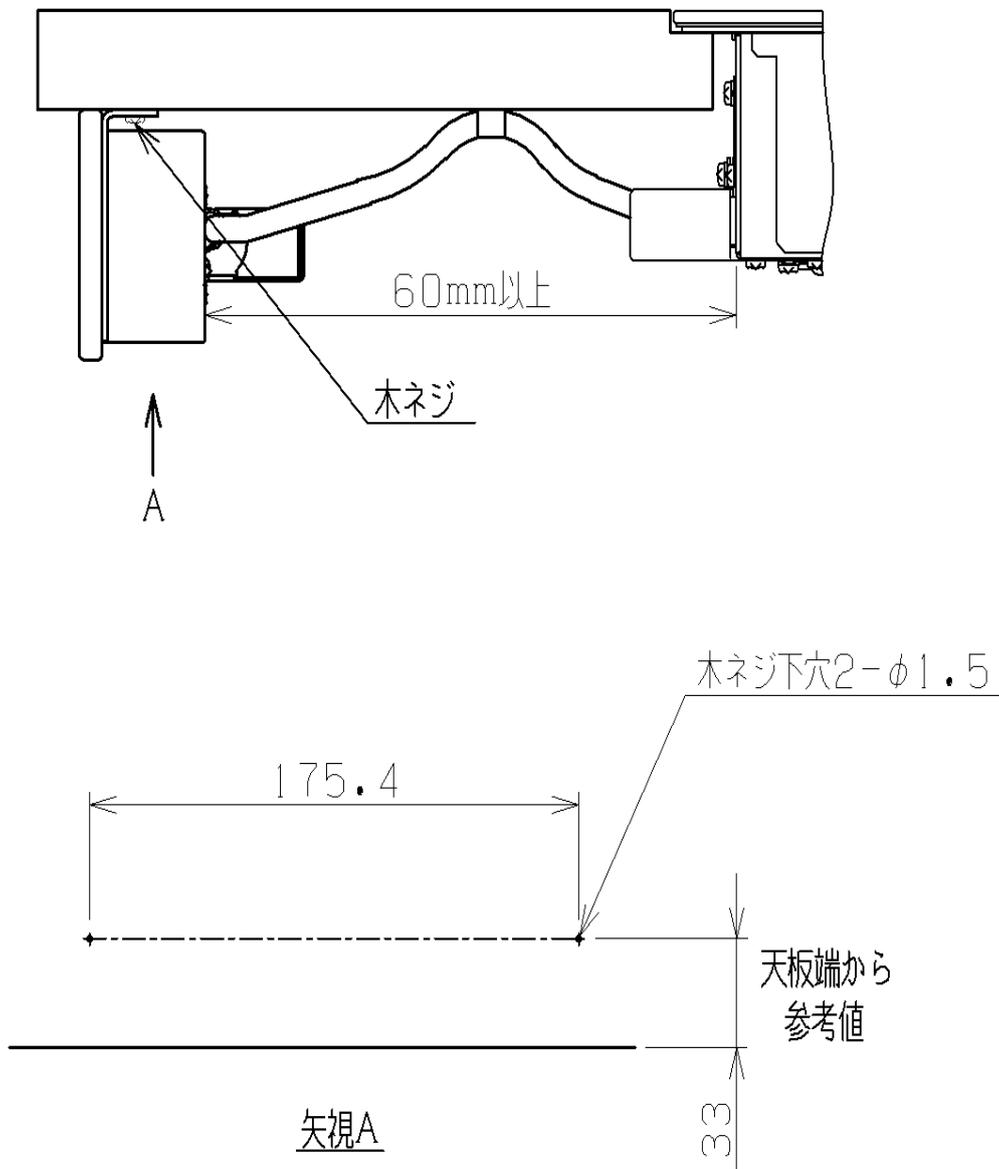


取り付け台の加工（続き）

3. 取り付け穴の加工（続き）

■ 操作部取り付け穴 単位：mm

①天板裏面に取り付けの場合

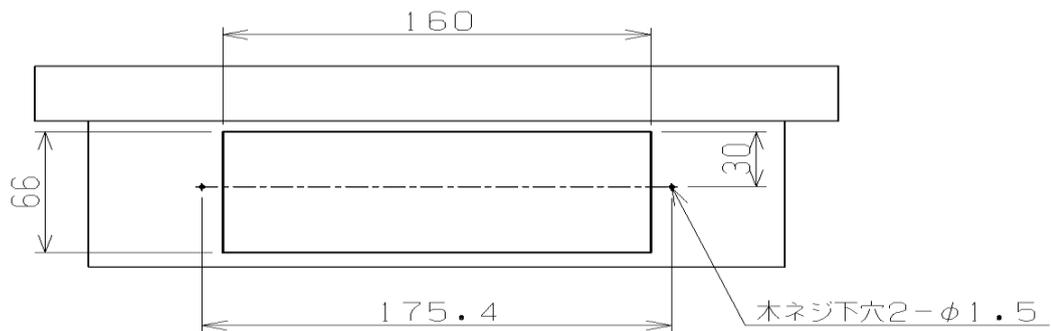
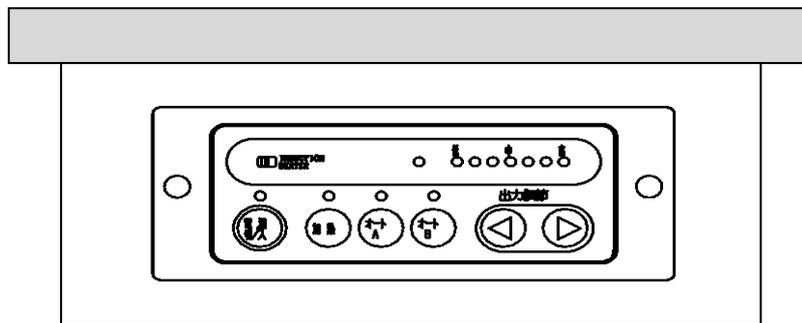


取り付け台の加工（続き）

3. 取り付け穴の加工（続き）

■ 操作部取り付け穴 単位：mm

②化粧幕板（側面）に取り付ける場合

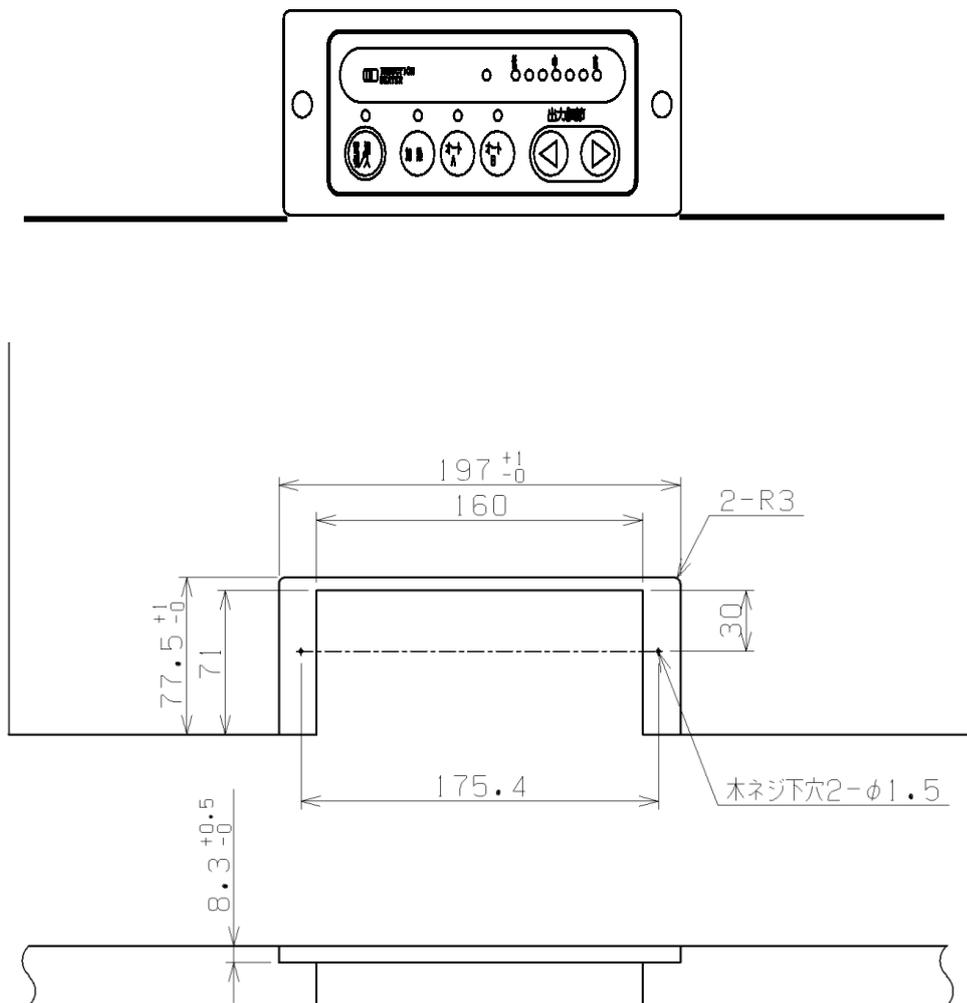


取り付け台の加工（続き）

3. 取り付け穴の加工（続き）

■ 操作部取り付け穴 単位：mm

③天板表面（切り欠く）に取り付ける場合

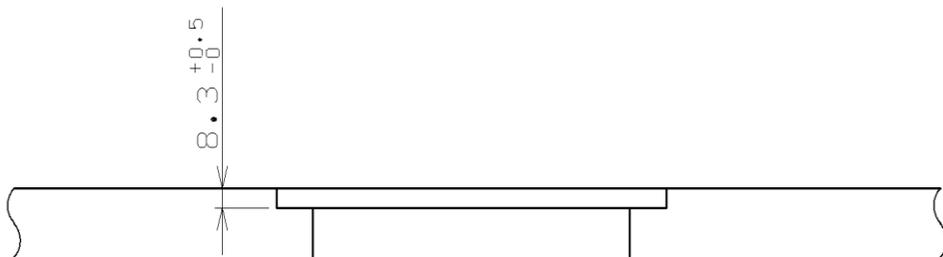
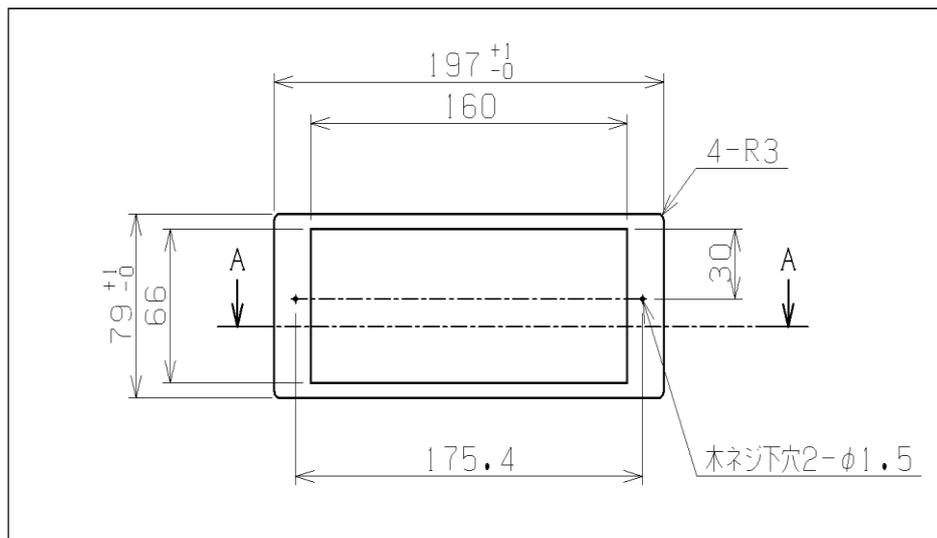
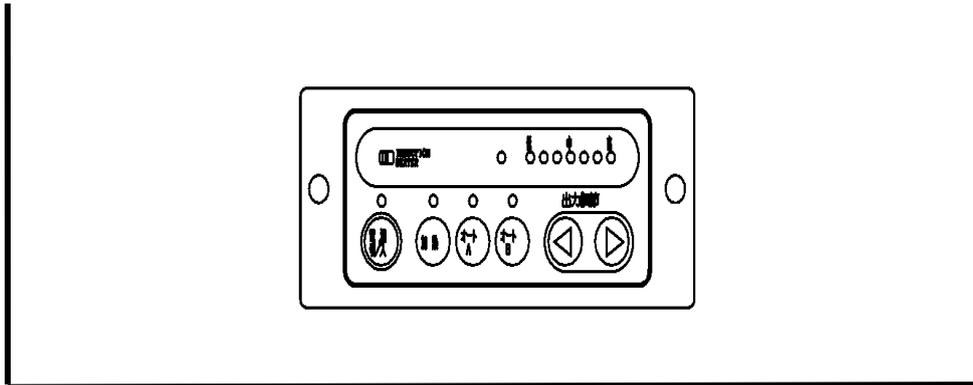


取り付け台の加工（続き）

3. 取り付け穴の加工（続き）

■ 操作部取り付け穴 単位：mm

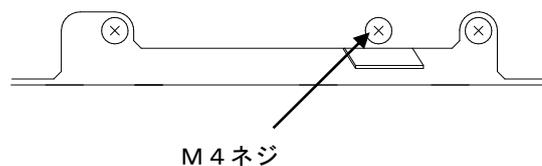
④天板表面（開口をあけて）に取り付ける場合



A-A断面

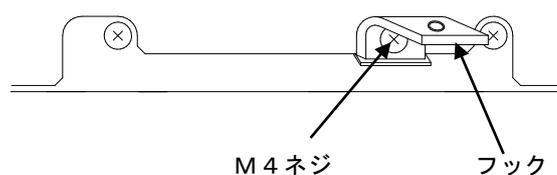
設置方法（本体）

- ①本体両サイドの中央のネジ（折り返しの上）を2個外します。

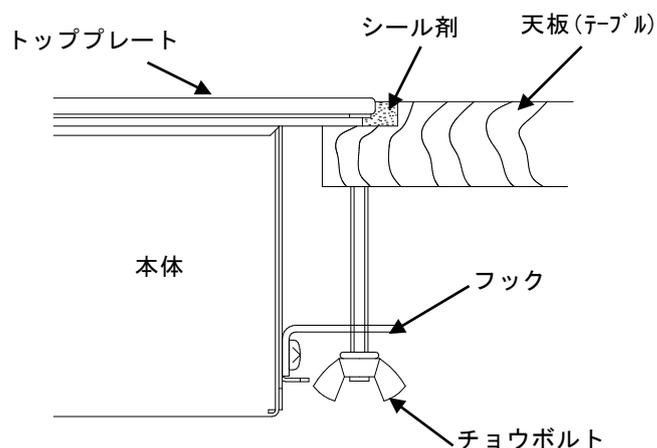


- ②本体を天板の取付穴にはめ込みます。
はめ込み後、トッププレートのコーナ部を押し
てガタツキがないことを確認してください。

- ③フックを取り付け、①で外したM4ネジで固定
します。（両側）



- ④フックの下側からチョウボルトを締め付けて本
体を天板（テーブル）に固定します。



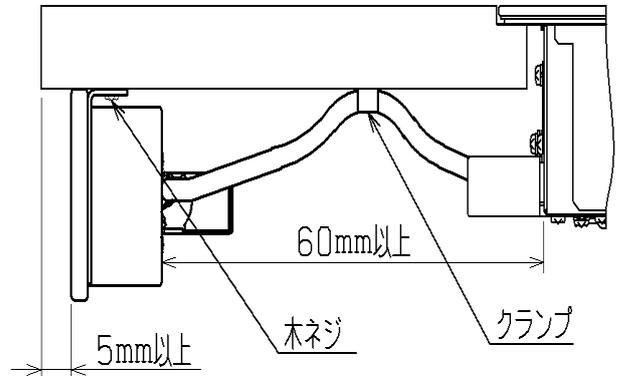
- ⑤本体を固定した後、天板とトッププレートの隙
間をシリコンシール剤（信越化学工業製 KE45RTV
など）でシールしてください。

シール剤を塗布してから本体を装着すると、
トッププレート裏側にシール剤がまわり、修
理時に外せなくなります。

設置方法（操作部）

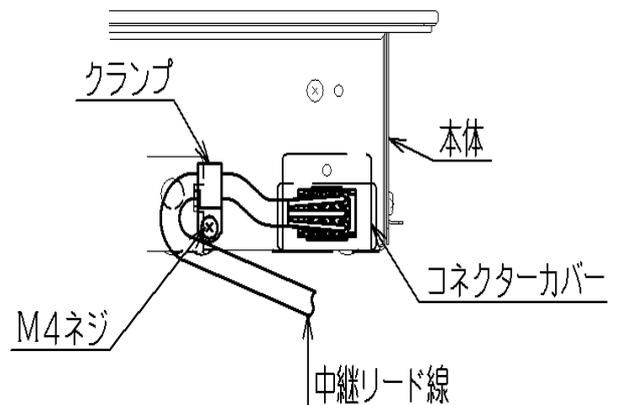
天板裏面に取り付ける場合

- ①タッピングネジで操作部を天板に固定する。
 - 本体と接触せず、かつ、チュウケイリードセンクミが届く範囲にしてください。
 - 本体と操作部の間を60mm以上あけ、操作部前面は天板端面より5mm以上内側に取り付けてください。
(前面に合わせて取り付けると体に触れてスイッチが入る恐れがあります)

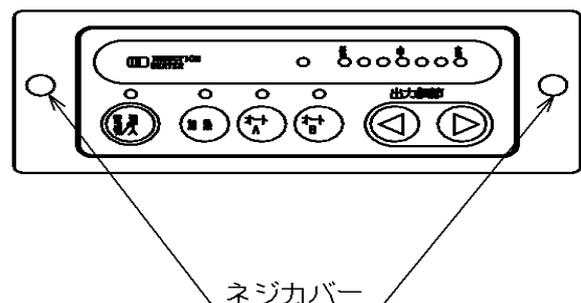


- ②操作部に接続されているチュウケイリードセンクミのコネクタを本体のコネクタに接続する。
- ③前項で接続したコネクタのとなり側にクランプを用いて、チュウケイリードセンクミを固定する。

- ④最後にコネクタカバーを必ず取り付ける



- ⑤操作部前面にネジカバーをはめます。

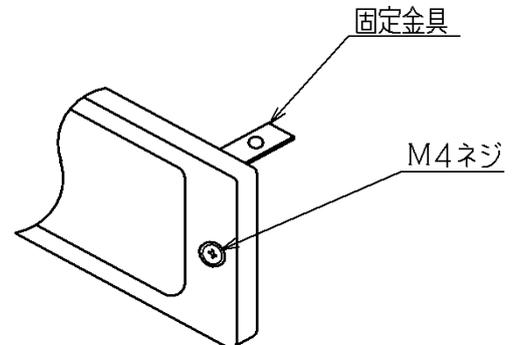


設置方法（操作部）

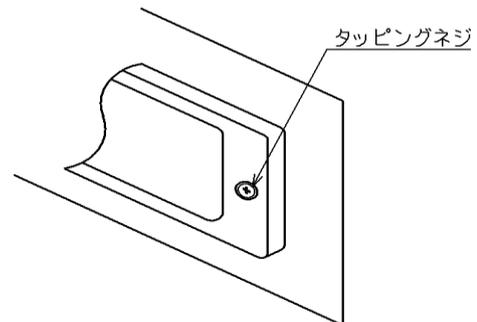
（続き）

化粧幕板に取り付ける場合

- ①操作部前面のM4ネジを2個外し、固定金具を取り外します。



- ②化粧板にはめ込み、木ネジで固定します。

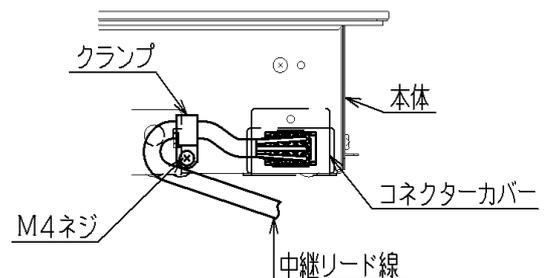


- ③操作部に接続されているチュウケイリードセンクミのコネクタを本体のコネクタに接続する。

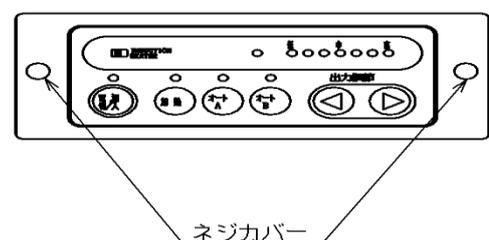
- ④前項で接続したコネクタのとなり側にクランプを用いて、チュウケイリードセンクミを固定する。

- ⑤必要に応じて、クランプを用い、チュウケイリードセンクミがたるまないように固定します。

- ⑥最後にコネクタカバーを必ず取り付ける



- ⑦操作部前面にネジカバーをはめます。

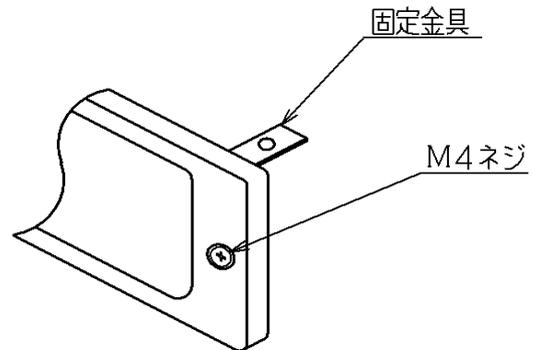


設置方法（操作部）

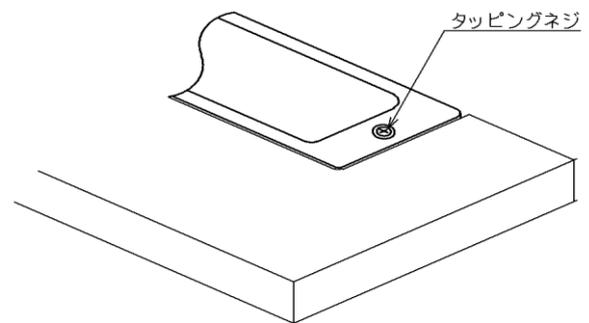
（続き）

天板表面（切り欠く）に取り付ける

- ①操作部前面のM4ネジを2個外し、固定金具を取り外します。



- ②化粧板にはめ込み、木ネジで固定します。

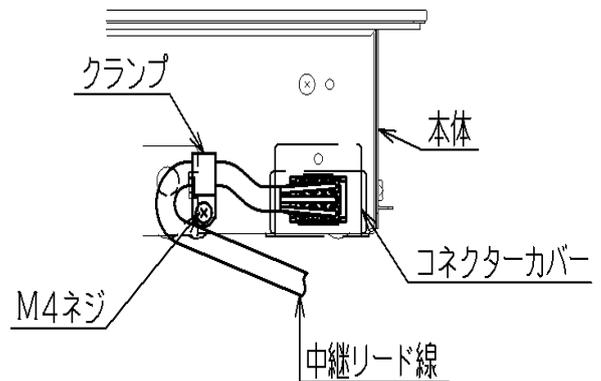


- ③操作部に接続されているチュウケイリードセンクミのコネクタを本体のコネクタに接続する。

- ④前項で接続したコネクタのとなり側にクランプを用いて、チュウケイリードセンクミを固定する。

- ⑤必要に応じて、クランプを用い、チュウケイリードセンクミがたるまないように固定します。

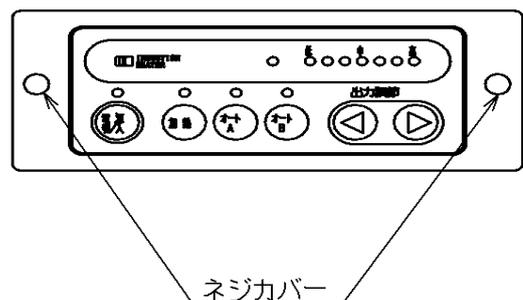
- ⑥最後にコネクタカバーを必ず取り付ける



- ⑦操作部前面にネジカバをはめます。

- ⑧天板と操作部の隙間を、操作部を固定した後、シリコンシール剤（信越化学工業製 KE45RTV など）でシールしてください。

シール剤を塗布してから操作部を装着すると、裏側にシール剤がまわり、修理時に外せなくなります。

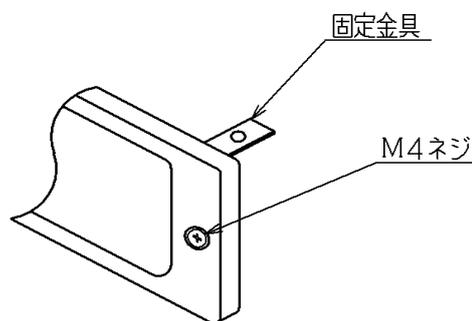


設置方法（操作部）

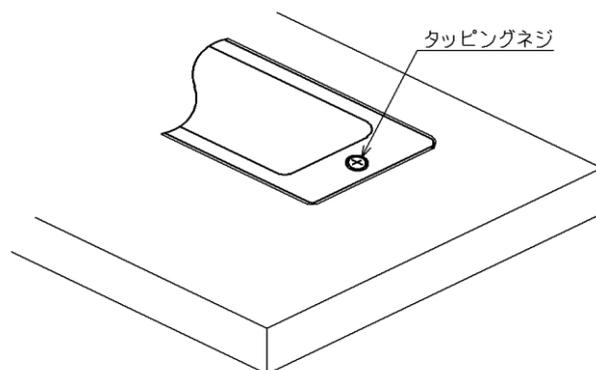
（続き）

天板表面（開口をあけて）に取り付

- ①操作部前面のM4ネジを2個外し、固定金具を取り外します。



- ②化粧板にはめ込み、木ネジで固定します。

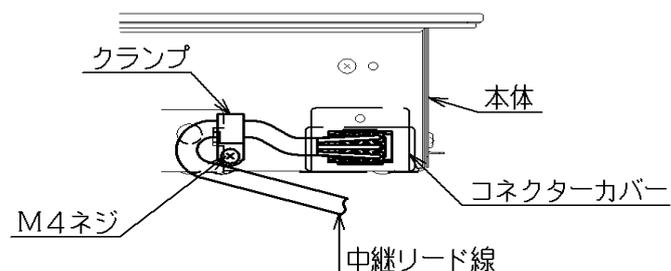


- ③操作部に接続されているチュウケイリードセンクミのコネクタを本体のコネクタに接続する。

- ④前項で接続したコネクタのとなり側にクランプを用いて、チュウケイリードセンクミを固定する。

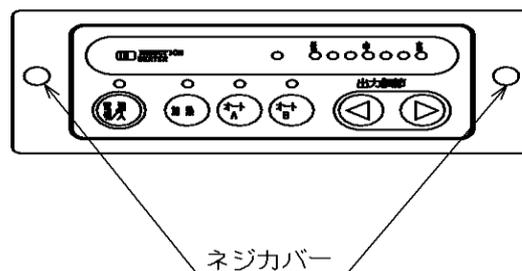
- ⑤必要に応じて、クランプを用い、チュウケイリードセンクミがたるまないように固定します。

- ⑥最後にコネクタカバーを必ず取り付ける



- ⑦操作部前面にネジカバーをはめます。

- ⑧天板と操作部の隙間を、操作部を固定した後、シリコンシール剤（信越化学工業製 KE45RTV など）でシールしてください。



シール剤を塗布してから操作部を装着すると、裏側にシール剤がまわり、修理時に外せなくなります。

設置後の確認

●設置工事終了後に次の手順で確認しチェックしてください。

	確認項目	チェック欄
環 境 置	周囲に物品を設置する場合には、後日のサービス作業に支障をきたさないよう十分配慮してください。	
外 製 観 品	トッププレートが割れていたり、汚れていないことを確認してください。	
電 気 工 事	接地（アース）の設置。	
	漏電ブレーカの設置。	
	本体と操作部間コネクタの接続。	
	電源プラグの接続。	
試 運 転	①電源電圧が単相200Vであることを確認してください。	
	②1/4程度水を入れた電磁調理器用なべをトッププレートの円（パターン図）に合わせてのせてください。 ※電磁調理器用なべは、鉄、鉄鋳物、鉄ホーロー、ステンレス（18-0）など磁石の吸い付くなべで、なべの底も直径12～27cmで平らななべ（ソリが1mm以下）をご使用ください。使えないなべを加熱しようとした場合はブザーが鳴り、通電を停止します。	
	③電源入/切キーを押してください。 ⇒ 電源ランプが点灯する。	
	④加熱キーを押してください。 ⇒ 加熱ランプ及び出力表示ランプが点灯する。	
	⑤出力調節キーを押してください。 ⇒ 押した回数に連動して出力表示ランプが点灯あるいは消灯する。	
	⑥オートAを押してください。 ⇒ オートAランプが点灯する。	
	⑥オートAを押してください。 ⇒ オートAランプが消灯する。	
	⑦オートBを押してください。 ⇒ オートBランプが点灯する。	
	⑧オートBを押してください。 ⇒ オートBランプが消灯する。	
⑨電源入/切キーを押してください。 ⇒ 電源ランプが消灯する。		

●確認後は、必ず電源入/切キーを「切」にしてください。

●各種ランプが点灯・表示しない場合や加熱が行われない場合は故障しておりますので販売元に修理を依頼してください。

確認印

ご相談窓口

ハイデック株式会社

本 社：〒607-8185 京都市山科区大宅神納町 6 番地

TEL：075-573-3332

FAX：075-573-3990

東京支店：〒135-0044 東京都江東区越中島 1 丁目 3 番地 12-1310

TEL：03-3642-0895

FAX：03-3630-0825